

に、三親等以内の親族を公認しないことを考えている、本当に出なければ違う選挙区から出ればいいと。

○菅内閣総理大臣 それは事実です。○辻元委員 しかし、総理は、違う選挙区からみずから実践して出ていらつしやるわけですよ。秋田で、副議長も務められて、お父さんが町会議員をやっていたところ以外のもので、非常に苦勞もされたと思えますけれども、総理みずから、違う選挙区で出た方が、世襲の方、非常にいろいろなことを親から学んで、いい面も持っていて、しかし、やはり違うところで一から苦勞してこそ、更に磨きがかかったいい議員になるんじゃないかとおっしゃっているわけですよ。

○菅内閣総理大臣 それは事実です。○辻元委員 しかし、総理は、違う選挙区からみずから実践して出ていらつしやるわけですよ。秋田で、副議長も務められて、お父さんが町会議員をやっていたところ以外のもので、非常に苦勞もされたと思えますけれども、総理みずから、違う選挙区で出た方が、世襲の方、非常にいろいろなことを親から学んで、いい面も持っていて、しかし、やはり違うところで一から苦勞してこそ、更に磨きがかかったいい議員になるんじゃないかとおっしゃっているわけですよ。

○菅内閣総理大臣 それは事実です。○辻元委員 しかし、総理は、違う選挙区からみずから実践して出ていらつしやるわけですよ。秋田で、副議長も務められて、お父さんが町会議員をやっていたところ以外のもので、非常に苦勞もされたと思えますけれども、総理みずから、違う選挙区で出た方が、世襲の方、非常にいろいろなことを親から学んで、いい面も持っていて、しかし、やはり違うところで一から苦勞してこそ、更に磨きがかかったいい議員になるんじゃないかとおっしゃっているわけですよ。

○菅内閣総理大臣 それは事実です。○辻元委員 しかし、総理は、違う選挙区からみずから実践して出ていらつしやるわけですよ。秋田で、副議長も務められて、お父さんが町会議員をやっていたところ以外のもので、非常に苦勞もされたと思えますけれども、総理みずから、違う選挙区で出た方が、世襲の方、非常にいろいろなことを親から学んで、いい面も持っていて、しかし、やはり違うところで一から苦勞してこそ、更に磨きがかかったいい議員になるんじゃないかとおっしゃっているわけですよ。

○菅内閣総理大臣 それは事実です。○辻元委員 しかし、総理は、違う選挙区からみずから実践して出ていらつしやるわけですよ。秋田で、副議長も務められて、お父さんが町会議員をやっていたところ以外のもので、非常に苦勞もされたと思えますけれども、総理みずから、違う選挙区で出た方が、世襲の方、非常にいろいろなことを親から学んで、いい面も持っていて、しかし、やはり違うところで一から苦勞してこそ、更に磨きがかかったいい議員になるんじゃないかとおっしゃっているわけですよ。

○菅内閣総理大臣 それは事実です。○辻元委員 しかし、総理は、違う選挙区からみずから実践して出ていらつしやるわけですよ。秋田で、副議長も務められて、お父さんが町会議員をやっていたところ以外のもので、非常に苦勞もされたと思えますけれども、総理みずから、違う選挙区で出た方が、世襲の方、非常にいろいろなことを親から学んで、いい面も持っていて、しかし、やはり違うところで一から苦勞してこそ、更に磨きがかかったいい議員になるんじゃないかとおっしゃっているわけですよ。

○菅内閣総理大臣 それは事実です。○辻元委員 しかし、総理は、違う選挙区からみずから実践して出ていらつしやるわけですよ。秋田で、副議長も務められて、お父さんが町会議員をやっていたところ以外のもので、非常に苦勞もされたと思えますけれども、総理みずから、違う選挙区で出た方が、世襲の方、非常にいろいろなことを親から学んで、いい面も持っていて、しかし、やはり違うところで一から苦勞してこそ、更に磨きがかかったいい議員になるんじゃないかとおっしゃっているわけですよ。

ることを考えていないから。○辻元委員 自民党には、例えば、一時、大正時代から議席を我が一族でいただいておりましてとおっしゃって批判を浴びた方、まだ今もいらつしやるんですけれども、でも、私は、その人が悪いと言わないんです。大正時代からだと百年ですよ。この中にもいらつしやいますね、大正時代から先祖代々じゃないけれども、なぜこういうことを言うかという、菅総理はこもおっしゃっているんですね。国民が厳しい生活をしているときに自分たちは何もしてないのか、だから世襲制限が必要なんだ。

○菅内閣総理大臣 まさに、多様性というものが必要であるというふうに思います。そういう中で、自民党、今、女性の議員が非常に少ないですから、そうしたものに対応しようとか、世襲については、先ほど申し上げましたけれども、世襲だからという形ですぐ公認しないで、その、出馬する選挙区で党員投票をやった決まろうとか、そういういろいろなルールをつくっています。

○菅内閣総理大臣 ちよつとお待ちください。ちよつと、具体的に申し上げます。(辻元委員

○菅内閣総理大臣 ちよつとお待ちください。ちよつと、具体的に申し上げます。(辻元委員

○菅内閣総理大臣 ちよつとお待ちください。ちよつと、具体的に申し上げます。(辻元委員

○菅内閣総理大臣 ちよつとお待ちください。ちよつと、具体的に申し上げます。(辻元委員

○菅内閣総理大臣 ちよつとお待ちください。ちよつと、具体的に申し上げます。(辻元委員

○菅内閣総理大臣 ちよつとお待ちください。ちよつと、具体的に申し上げます。(辻元委員

れども、おやじの後を受けて、息子や党員、党友の姿勢にはどうしても前任者の色がにじみ出る、世襲の該当者がいる選挙区では厳正な公募は難しくなると言っているじゃないですか。

○菅内閣総理大臣 見えておりません。○辻元委員 そうすると、九十九人の名簿、決裁、判を押しているんですよ。このときに、いや、六名はちよつと今回は任命できないという話は聞きましたか。

○菅内閣総理大臣 もともとこの……(辻元委員「いや、聞いたか聞いていないかだけだから」と呼ぶ)それは聞いていません。九十九人の名簿が出てきて、そこで印鑑を押して、参考資料としてつけてきましたけれども、見ていません。(辻元委員「じゃ、見ていなかった」と呼ぶ)はい。

○菅内閣総理大臣 それは、この六名が任命から外されたというのはいつ知ったんですか。その後ですか。これは総理しかわからないよ、総理の記憶だから。

○菅内閣総理大臣 ちよつとお待ちください。ちよつと、具体的に申し上げます。(辻元委員

○菅内閣総理大臣 ちよつとお待ちください。ちよつと、具体的に申し上げます。(辻元委員

○菅内閣総理大臣 ちよつとお待ちください。ちよつと、具体的に申し上げます。(辻元委員

○菅内閣総理大臣 ちよつとお待ちください。ちよつと、具体的に申し上げます。(辻元委員

「思い出してください。これ、判こついたのでしょ」と呼ぶ) ついた、ちよつと……(辻元委員「ちよつと待つて。じゃ、時計とめてもらおう。じゃ、総理、時計とめろと指示してください」と呼ぶ) いや、私、総理大臣になってから正式に任命しますの、その日にちだけちよつと確認……(辻元委員「いや、日にちはいいです。六名を、ちよつと委員長」と呼ぶ)

○菅内閣総理大臣 わかりやすく説明してください、辻元清美君。

○菅内閣総理大臣 八月三十一日、学術会議の推薦を受けて、具体的な対応について相談を受けたわけで、具体的な相談を受けたのは総理大臣になった後です。九月十六日、私、内閣総理大臣に就任しましたので、その後、それを受けて、私が、懸念や任命の考え方を官房長官や副長官を通じて内閣府に伝えて、最終的に九十九名を任命する決裁を行ったということです。

○菅内閣総理大臣 ですから、もう一回言いますよ。この六名の、加藤陽子さん以下六名の名前が出ました。これは、じゃ、こんな人たちが任命されていなかったという話は二ニュースで知ったんですか、新聞とか。いかがでしょう。

○菅内閣総理大臣 ます、八月三十一日に学術会議から総理大臣宛てに百五名の推薦名簿が提出され、担当の内閣府からその内容の報告を受けて、私が官房長官時代から持っていた懸念というものを伝えました。こうした懸念や任命の考え方を官房長官を通じて内閣府に伝えて、九月二十四日に内閣府が九十九名を任命する旨の決裁を起案して、九月二十八日ですね、決裁を行ったのは。

○菅内閣総理大臣 そうです、総理は、懸念は伝えた

○菅内閣総理大臣 そうです、総理は、懸念は伝えた

○菅内閣総理大臣 そうです、総理は、懸念は伝えた